

UNIT ユニット株式会社

品番 398-05

人感センサー式・録音 音声警報器

セフティアラート

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全なご使用をお願い申し上げます。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

※本商品は事故・災害・盗難などを防止する物ではございません。

万一発生した事故・災害・盗難などによる損害については責任を負い兼ねますので、ご了承ください。

⚠ 警告 安全上のご注意

※電気製品は、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

故障したら使わない

※動作がおかしくなったり、破損している事に気づいたら、すぐにご使用を中止してください。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

- 火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより「死亡や重症など人身事故のおそれがある内容」です。

⚠ 警告

- 火災・感電などにより「死亡や重症など人身事故のおそれがある内容」です。

⚠ 注意

- 火災・感電などにより「死亡や重症を負ったり周辺の家財に損害を与えたりするおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で示しています。

禁止

行うことを禁止しています。

指示

行うことを強制しています。

⚠ 危険

禁止

本機を火中に投棄したり、ストーブのそばなど高温の場所で使用しない。乾電池や電子部品などが破裂したり液漏れしたりして、怪我や火傷などの原因となる事があります。

禁止

使い切った乾電池を機器に入れたままにしない。電池からガスが出たり、液漏れして機器が破裂や破損する原因となります。

禁止

炎天下の車中など、高温の場所での使用・保管・放置をしない。電池からガスが出たり、液漏れして機器が破裂や破損する原因となります。

分解禁止

分解・改造を行わないでください。機器が故障したり、火災などの原因にもなります。

⚠ 警告

指示

ご使用前に動作確認と外観上に異常がないか確認してください。異常を感じたら直ちに使用を中止し、交換などの適切な処置を行ってください。

指示

ご使用中に異常があった場合は、直ちに使用を中止し電源を切ってください。電池を取り出すか、アダプターご使用時はアダプターを電源から抜いてください。

禁止

電池は単3型のアルカリ電池もしくは充電電池をご使用ください。また＋と－を逆に入れないでください。指定の電池以外を使用すると火災や故障の原因になります。

禁止

使い切った乾電池を機器に入れたままにしないでください。電池からガスが出たり液漏れして機器が破裂や破損する原因となります。

禁止

本体背面の電池ボックスや、本体側面のキャップ内の端子類に水や異物を入れないでください。端子などがショートし故障や破損の恐れがあります。

禁止

電池を入れたまま、ACアダプター（別売）のご使用はおやめください。機器が破裂や破損する原因となります。

禁止

本機は日本国内専用品です。国外でのご使用はおやめください。国外でのご使用は動作保証を致し兼ねます。

⚠ 注意

禁止

故意に大きな衝撃は与えないでください。故障や破損の原因になります。

禁止

スピーカーや背面の磁石に影響を受け易いものを近づけないでください。キャッシュカードや磁気定期券、時計など正しく機能しなくなる恐れがあります。

禁止

LED球を直視しないでください。目を痛める恐れがあります。

禁止

降雨の中や、手が濡れた状態、本機に水滴がついた状態で電池蓋や端子カバーを開けたりしないでください。内部に水が入り、機器損傷の原因になります。

禁止

台風やゲリラ豪雨など水圧の掛かる条件下では使わないで下さい。内部に水などが入り、機器損傷の原因になります。

指示

使用後はスイッチを切り、音が出ない事を確認して、汚れを拭き取り保管してください。

防雨構造

本機は、JIS保護等級のIP55相当に準拠した防水・防じん性能を有しています。（当社社内試験による測定）

- 防水・防じん性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水や粉じんの侵入による故障は保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 防水の対象となる液体は真水・水道水などです。それ以外の液体（例：石けん水、洗剤やシャンプー、温泉水など）は非対象です。
- 本機は耐水圧ではありません。シャワー、台風やゲリラ豪雨など高い水圧の掛かる場所でのご使用は故障の原因となります。

防水・防じん性能を保つために

- キャップや電池蓋の取り扱いに注意してください。防水・防じん性能を保持するために大変重要です。ご使用の際は必ず完全に閉まっている事を確認してからご使用ください。隙間などがあり完全に閉まってない場合は内部に水などが入り故障の原因となります。
- 冬季などは、水滴が付着したまま放置すると水滴が凍結し故障の原因となりますので、水滴が付着した場合、乾いた柔らかい布などで必ず拭き取ってください。

⚠ 注意

- 本機は、赤外線センサーで人を感じし、録音した音声を再生し警告などをお知らせします。センサーは人などの温度変化を感知して作動します。取り付け位置や、設置環境でセンサーの感知範囲が変化します。
- センサーは人を熱として感知します。従って、体温と気温の差が減少する夏などは反応が極端に鈍くなります。
- センサーは人またはそれに相当する熱源の温度変化を検知しますので、人以外の熱源が検知エリアを横切ったり、太陽光などが直接センサーに入ったりしても作動する場合があります。また、人のそばに別の熱源などがある場合は検知できない場合もありますので、使用環境をご確認頂き誤作動のないような場所に設置してください。
- 検知体や周囲の環境温度によって検知距離は変化します。本機のセンサーは熱源を検知するもので、人の検知を必ず保証するものではありませんのでご了承ください。

感知の範囲

- センサーは下図の範囲内にて動く人を感じます。取り付ける位置や環境で変化しますのでご注意ください。

センサー検知エリア図

※ センサーに向かって左右に動く人には敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、動きを感じできず極端に反応が鈍くなります。

※ センサーは人の熱を感知する為、体温と気温の差が減少する夏は反応が鈍くなります。センサー正面に太陽など強い熱源がある場合も同様になります。

※ 人以外にも熱源のある物を感じますので、使用環境にはご注意ください。

内容の確認

開梱後すぐに、本体に傷や破損など不具合が無いかご確認ください。

※乾電池は別売りです。単3型アルカリ乾電池3本を別途お買い求めください。

梱包内容

警報器本体：1台

調整シール：3種（1シート）

取扱説明書：1枚

各部の名称

5

裏蓋内名称

電池を入れる

1 電池BOXの蓋を開ける

- 本体裏側の裏蓋を、手で掴み左に回して、蓋の右上に表記されているOPENの▢を本体の◀と位置が合うまで回してください。蓋を引っ張り取り外してください。

2 電池を入れる

- 電池BOXに、単3型アルカリ乾電池（別売）3本を右図の向きで正しく入れてください。

※ 乾電池は必ず3本とも新しい物を入れ、異なる種類の電池を混ぜないでください。

※ 本機は、単3型ニッケル水素充電電池もご利用可能ですが、この際は満充電の物をご使用し、違う種類の物を混ぜないでください。

3 電池BOXの蓋を閉める

- 裏蓋のOPENの▢と本体の◀の位置を合わせて裏蓋をはめてください。蓋を右に回し、蓋のLOCKの▶と本体の◀の位置が合うまでしっかり閉めてください。

※ 蓋を完全に閉めないでご使用すると、内部に水や埃などが入り故障の原因となりますのでご注意ください。

作動の確認

1 電源を入れる

- 電源ボタンを長押しすると電源が入ります。

- ・ LED（緑）が点滅します。
- （本機が待機中はLED（緑）が点滅します）
- ・ センサーが人（熱）を感知するとLED(赤)が点滅し、音声の流れます。

2 音声の選択

- 本機は、2種類の音声を録音・再生できます。
- 本体右側面の音選択スイッチのA/Bを切り替えて再生（録音）する音声を選ぶ事が出来ます。

※テスト用サンプルとして、出荷時に2種類の音声を入れてあります。

収録サンプル音

A：警報ブザー音

B：警報＋音声（危険ですから作業半径内に入らないでください）

3 音量の調整

- 本体右側面の音量調節ボタンの⊕⊖を押して音の大きさを変更できます。（11段階）

4 電源を切る

- 再度電源ボタンを長押しします。LED（緑）の点滅が止まり電源が切れます。

音声の録音

- 本機は、マイクに直接音を録音又はライン入力により、パソコンなどから任意の音声を録音する事が出来ます。

お客様のご使用状況に応じて方法を選択し、録音してください。

※録音可能時間は最大約20秒です。

1 チャンネルの設定

- 本体右側面の音声選択ボタンで録音したいチャンネルに合わせます

2 録音ボタンの用意

- 本機の裏蓋を回し、蓋を外してください。電池BOXの右横に録音ボタン・マイク・ライン入力端子などがありますので見えるようにしてください。

音声の録音（つづき）

3 録音方法の選択

- マイクを使うか、音声ライン入力（パソコンなどと繋ぐ）を使うか録音方法に合わせて下記いずれかの方法で録音してください。

4-A マイクを使った録音

① 本機の電源を入れてください。

② マイク／ライン切り替えスイッチをマイク（MIC）側にする。

③ 録音ボタンを押してください。録音ランプが点灯します。

そのまま録音ボタンを押し続け「ピッ」と音がしたら、マイクに直接音を吹き込んでください。吹き込みが終わりましたら、録音ボタンを離してください。

・録音完了です。

4-B ライン入力を使った録音

① 別売りのラインコードを、パソコン、スマホなどの音声出力（ヘッドホン）端子と本機のライン入力端子に挿し、繋いでください。

② 本機の電源を入れてください。

③ マイク／ライン切り替えスイッチをライン（LINE）側にしてください。

④ 出力側の機器（パソコンなど）の音声を準備してください。

⑤ 本機の録音ボタンを押すと録音ランプが点灯します。

そのまま録音ボタンを押し続け「ピッ」と音がしたら、出力側の機器の音を再生してください。再生が終わりましたら、録音ボタンを離してください。

・録音完了です。

※ 録音時出力側の音量を出来るだけ大きくしてください。音量が小さいとノイズが大きくなったり、再生音声が小さくなります。

5 裏蓋を閉める

- 録音が終わったら、本体に裏蓋を取り付けしっかりと閉めてください。

音声の再生

1音の選択

● 本体右側面の音声選択スイッチでA又はBの再生したい音声に合わせます。

音声選択
A B

2音量の調整

● センサーの前に手をかざすと、録音した音声再生されますので、本体側面音量ボタンの⊕⊖を調整して適切な音量に調整してください。

音量
⊖ ⊕

3音声の再生

● センサーが正しく対象物（人）に反応するように調整して設置してください。本機の前を人が横切るとセンサーが反応して、録音した音声再生されます。

4音声の消去

● 録音時に使用した裏蓋内の電池ボックス右横の録音ボタンを押し「ピッ」となったらすぐに手を離してください。 無音で音声上書きされます。

※ 電池交換時などに不用意に録音ボタンを触ると同様の事が起き音声が消されてしまいますのでご注意ください。

電池寿命について

● 本機は通常、待機時にLED（緑）が10秒に1回点滅します。電池が消耗してくると点滅が早くなり5秒で2回の点滅に変わります。その際は、すみやかに新しい単3型乾電池に交換してください。（3本全て）

● 電池の容量が足りませんと音声やセンサーが不具合や誤作動してしまいます。 そのような場合も乾電池の交換をすみやかに行ってください。

点滅が早くなる

設置

金属面への取り付け

● 本機は、背面に特殊構造の強力マグネットを6個搭載しています。強力マグネットで鉄製の物に、簡単に貼り付けてご使用頂けます。また、特殊ダンパー構造により曲面にも貼り付けが可能です。 ※ 曲面への貼り付けには限界があります。全ての曲面への貼り付けを保証するものではありません。

単管パイプへの取り付け

● 本機は、背面のボルトに別売りのクランプをボルトで取り付けられます。クランプでφ48.6単管パイプなどに取り付けでの設置も可能です。

10

設置（つづき）

重機などへの設置

● 本機は、特殊構造の強力マグネットにより鉄製の曲面に貼り付けが出来ます。重機背面などに取り付けて、オペレーターの死角(背面など)に接近する人に対して警報をするなどして、安全の為に補助器具としてお使い頂けます。 ● 乾電池で駆動しますので配線などを必要としません。 ● マグネットで簡単に着脱が可能ですので、誰でも簡単に扱えます。

貼り付けるだけ！

接近してきた人に注意を促す事ができます。

11

本体仕様

寸法図

項目仕様

項目	仕様
使用場所	屋内・屋外（乾電池使用時）
防水性能	防雨構造（IP55相当）
電源	単3アルカリ乾電池×3本 又はAC100Vに専用アダプター（別売）にて対応
サイズ	120×200×82mm（スイッチ・外部入力キャップの突起除く）
本体重量	430g（乾電池含まず）
動作温度範囲	-10℃～40℃
保存温度範囲	-10℃～50℃
検知方式	受動型赤外線検知方式
音量	11段階（0～最大90db以上※録音音源・条件による）
録音方式	本体内蔵マイク / ライン入力
録音時間	最大20秒
録音可能件数	2件
本体材質	ABS樹脂

12

付属品（調整シール）のご使用方法

センサーの検知範囲を調整する場合、付属のシールをご使用ください。

● このシールは、センサーをカバーし幅方向の感知を抑制する事でセンサーの反応を鈍らせる事ができます。 ● 反応する角度や探知距離などは、ご使用の環境（温度や天気など）によって変化しますのでご注意ください。

センサーの感知エリアを狭めます

付属シールの種類

①穴大（8×20） センサーの反応する幅を狭くして感度を弱くします。 ②穴小（4×20） センサーの反応する幅を更に狭くして感度を最も弱くします。 ③フリーカット用 ハサミなどでカットして自由に調整できます。

ご使用方法

● シールの穴を縦にして、本体中心センサー部上に貼り付けてください。 ※穴を横にすると幅方向でセンサーを抑止することができませんので、検知範囲が狭くなりません。

● ③は、ハサミなどでカットしてご使用状況に合わせて調整する事ができます。

※ 本シールは、センサーの検知範囲の制御を必ずしも保証する物ではございません。ご使用になる環境などによって検知範囲は変化しますので、必ず動作確認を行ってからご使用ください。

13

オプション（別売）品のご案内

追加センサー 398-03

● センサーを追加し広範囲で検知を可能とします。

本体への接続
本体左側面の端子カバー右を開けて端子を押し込んでください。
※端子はしっかり奥まで差し込んでください

ACアダプター 398-09

● AC100V電源でご使用頂けます。電池切れの心配なく長時間ご利用できます。 ※ ACアダプター使用時は本体に乾電池は入れないでください。 ※ 屋内専用です、水回りなどでのご使用はおやめください。

本体への接続
本体左側面の端子カバー左を開けて端子を押し込んでください。
※端子はしっかり奥まで差し込んでください

ラインコード 881-862A

● 音声録音用にパソコンなどのヘッドホン端子と本機を繋ぐケーブルです。

穴開きクランプ 305-514

● 48.6φ単管パイプに取り付ける為の金具とボルトのセットです。（各2個入り）

LEDバー 398-04

● 音にプラスして高輝度LEDライトの点滅による光にてお知らせします。更に警報の効果がアップします。特に暗く見えにくい場所や夜間などで効果を発揮します。

本体への接続
本体左側面の端子カバー中央を開けて端子を押し込んでください。
※端子はしっかり奥まで差し込んでください

光と音でお知らせ！

14

故障かなと思ったとき

こんなときは	考えられる原因	ここをご確認ください
音が出ない	電池が入っていない。	電池を入れてください。
	電池の向きが正しくない。	電池の向きを入れ直してください。
	音量がゼロになっている。	音量⓪ボタンを押してください。
	電池寿命。	新しい電池に交換してください。（3本全て）
音が割れる	人がセンサーに直進している。	横に移動してください。
	音が録音されていない。	音を録音してください。
	電池の出力不足（電池寿命）又は古い電池が混ざっている。	新しい電池に交換してください。（3本全て）
ノイズが入る	録音レベルが高い。	出力側の音量を下げ、録音し直してください。
	録音レベルが低い。	出力側の音量を上げて、録音し直してください。
ノイズが入る	マイク録音時に周りの音を拾っている。	静かなところで、録音し直してください。
	録音元の音源にノイズが入っている。	音源を確認してください。
人がいないのに音がなる	感知範囲内にセンサー誤作動の原因がある。 ・小動物など動く物がある。 ・風などで揺れる物がある。 ・熱源となる物がある。 ・無線機器などによる干渉がある。 ・本体への激しい振動がある。	左記の原因となるものを取り除くか移動させてください。
	感知距離が短い	センサーレンズが汚れている。 周囲温度が30℃以上ある。

15

品質保証書

セフティアラート 398-05

1) 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、当社が無料にて交換又は修理致します。
2) 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
※使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷
※火災、地震、その他天災地変による故障および損傷
※本書の掲示がない場合
3) 本書は日本国内においてのみ有効です。
4) 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

保証期間（お買い上げ日より） 1年間

お買い上げ日 年 月 日

お客様 お名前 〒 電話番号 - - 住所

UNIT ユニット株式会社 〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-3-20 TEL 0120-490-336

16